令和　０７　年度 町道鹿瀬線消雪井さく井工事　　設計書	調　　査	
	設　　計	

工　事　番　号	施　工　地
R7阿建社交第2-001号	東蒲原郡阿賀町　鹿瀬　地内

	実　施　・　元	変　　更
設　　計　　額	円	円
契　　約　　額 （内消費税額）	円 （　　円）	円 （　　円）
工事・履行日数	工事日数　　日間 又は 完成期限　07 年　11 月　25 日	日間（ 付与日数　　日間 ） 完成期限　　年　　月　　日
実　　施 （元） 設計概要	消雪井さく井工　1箇所	変　　更 設計概要

施　工　条　件　総　括　表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者（町）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明示項目	施工条件
1 工程関係	1．関連する別途発注工事　（　なし　） ・工　事　名： ・予定期間：
	2．施工時期、時間、方法の制限　（　なし　） ・時　　期： ・時　　間： ・方　　法：
	3．関係機関協議による工程条件　（　なし　） ・協議内容： ・完了予定時期：
	4．その他
2 用地関係	1．工事用地等の未処理部分　（　なし　） ・処理見込時期： ・区　　間：
	2．仮設ヤードの指定　（　なし　） ・場　　所： ・期　　間：
	3．その他
3 公害対策関係	1．公害防止の制限（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等）　（　なし　） ・施工方法： ・作業時間：
	2．家屋等の調査の必要性　（　なし　） ・方　　法： ・範　　囲：
	3．その他

明示項目	施工条件
4 安全対策関係	1．交通安全施設等の指定　（　なし　） ・交通誘導員： ・その他施設等：
	2．近接作業制限（鉄道、ガス、水道、電気、電話等）　（　なし　） ・内容： ・工法制限： ・作業時間制限：
	3．発破作業　（　なし　） ・保安設備及び保安要員： ・防護工： ・作業時間制限：
	4．防護施設（落石、雪崩、土砂崩落等） ・内容：
	5．その他
5 工事用道路関係	1．一般道路を搬入路としての使用制限　（　なし　） ・搬入経路： ・期間： ・使用後の処置：
	2．一般道路の占用　（　なし　） ・期間： ・規制条件： ・時間制限：
	3．仮設道路設置　（　なし　） ・工法指定の有無： ・用地関係： ・安全施設： ・工事完了後の「存置」または「撤去」：
	4．その他
6 仮設備関係	1．仮設備の指定　（　なし　）
	2．仮設備の条件指定　（　なし　）

明示項目	施工条件
6 仮設備関係	3．仮設構造物の転用、兼用　（　なし　） ・工　　種： ・内　　容：
	4．イメージアップ　（　なし　） ・内　　容：
	5．そ　の　他
⑦ 残土・産業廃棄物関係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり 発生する建設残土は指定する処分場へ搬出すること
8 工事支障物件等	1．占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等）　（　なし　） ・内　　容： ・移設、撤去、防護方法等： ・時　　期：
	2．占用物件重複施工　（　なし　） ・内　　容：
	3．そ　の　他
9 排水工（濁水処理含む）	1．濁水、湧水処理等の特別な対策　（　なし　） ・内　　容：
10 薬液注入関係	1．薬液注入工法　（　なし　） 別紙条件明示による
⑪ そ　の　他	1．現場発生材　（　なし　） ・品　　名： ・納入場所：
	②. 支給品及び貸与品　（　あり　） ・品　　名：揚水管　L=16.5m ・引渡場所：阿賀町役場　鹿瀬支所
	3．品質証明の必要　（　なし　） 標準仕様書第１編（章）１－１－２５による
	4．その他

<table>
<tr><th>明示項目</th><th>施　工　条　件</th></tr>
<tr><td>⑫ 排出ガス対策型建設機械及び低騒音建設機械</td><td>
１．排出ガス対策型建設機械
本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成３年１０月８日付建設省経機発第２４９号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。
排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。
<table>
<tr><th>機　　種</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>一般工事用建設機械
・バックホウ
・トラクタショベル（車輪式）
・ブルドーザ・発動発電機（可搬式）
・空気圧縮機（可搬式）
・油圧ユニット
以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの
（油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）
・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ
・ホイールクレーン</td><td>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。</td></tr>
</table>
２．低騒音建設機械
本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和６２年３月３０日建設省経機発第58号）に基づき低騒音型建設機械の使用が原則となる場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成９年建設省告示第１５３６号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。
低騒音型建設機械を使用する場合、請負者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。
</td></tr>
<tr><td>⑬ 施工方法等</td><td>・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款１条第３項による）</td></tr>
</table>

建 設 副 産 物 特 記 仕 様 書

１．再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地	備 考

２．建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発 注 機 関	工 事 名	発 生 場 所	施 工 会 社 名 ・ 連 絡 先	備 考

３．建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称			
工事場所／施設所在地			
連 絡 先			
受 入 時 間			
受 入 費 用			
仮 置 場 所 の 有 無			
備 考			

４．建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	無筋コンクリート殻	鉄筋コンクリート殻	アスファルト殻	汚泥（さく井）
処理施設名称				(株)北陸ｼﾞｵﾃｯｸ汚泥ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ
施設所在地				新潟市南区居宿397-2
連絡先				025-379-3630
受入時間				ー
受入費用				設計に計上
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

５．建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第１８条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

６．自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

７．協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

「週休２日適用工事(現場閉所)」（令和７年４月） 特記仕様書

本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して月単位の週休２日（現場閉所）に取り組む旨を協議した上で工事を実施する「週休２日適用工事(現場閉所)」受注者希望方式の対象案件である。なお、通期の週休２日（現場閉所）について、受注者は協議にかかわらず取り組むものとする。

通期の４週８休以上（現場閉所率28.5%（８日/28日）以上の水準に達する状態）を前提に、補正対象経費に通期の週休２日補正係数を乗じて予定価格を作成している。

受注者は、「「週休２日適用工事(現場閉所)」（令和６年10月）実施要領」に基づき、月単位の週休２日（現場閉所）の取組の希望の有無を工事着手前に、監督員と打合せ簿により協議するものとする。

現場閉所の達成状況より、月単位を希望して月単位の４週８休以上を達成した場合は、月単位の週休２日補正係数に設計変更する。月単位を希望して月単位の４週８休に満たない場合、月単位を希望せずに月単位の４週８休以上を達成した場合は、通期の週休２日補正係数のままとする。通期の４週８休に満たない場合は、補正分を減額変更するものとする。

(参考)
県要領の電子データは、新潟県ホームページから入手できるので参考とすること。
(https://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html)

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。
※データコード中の″ x″は任意の半角英数字（ xの数も任意）、″ n″は任意の半角数値です。

１　単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxxx	RRxxxxxxxxx	TRxxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxxx	Txxxxxxxxxx	TTxxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxxx	Kxxxxxxxxxx	KExxxxxxxxx	TMxxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxxx	MMxxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxxx	TBxxxxxxxxx	TCxxxxxxxxx	TDxxxxxxxxx	TGxxxxxxxxx	TQxxxxxxxxx		
その他	T9999001～T9999099※		Fxxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx※	TFJAxxxxxxx※	TYxxxxxxxxx※		
東京単価	RR9xxxxxxx	TZ09xxxxxxx	TZP9xxxxxxx	TL09xxxxxxx	MM09xxxxxxx	TQ09xxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。
※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

２　施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。 ※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxxx	SBxxxxxxxxx
	SCxxxxxxxxx	SDxxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。 ※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxx	WExxxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、６　パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	SO900※	SO901※	SE918※	
名称、労務数量等を設定	SA901※	SA902※	SA910※	SC900※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

３　機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機－〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準　〔4　下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合もあります。
SDHTxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3　港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

４　その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Ynxxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔１ 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、７ 業務委託の管理費区分を参照してください。

５　単価入力データー覧表について
以下の①～⑤単価コードについては単価入力データー覧表に関連情報※が記載されています。
同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。
①本表１　単価コードのその他に記載されている単価コード。
②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。
③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。
④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。
⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。
※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。
※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx,SCBSxxxxxxxx,SSHxxxxxxxxのことです。

６　パッケージコードの修正について
単価入力データー覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。
修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。
詳細については施工内訳表および単価入力データー覧表を参照してください。
※本表５の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。
※本表５の④の修正単価については、単価入力データー覧表金額欄に「＊減額処理＊」と記載されます。
※本表５の⑤の修正単価については、単価入力データー覧表金額欄に「＊単価置換＊」と記載されます。

7　業務委託の管理費区分

「N　直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔２ 調査関係〕を参照してください。

「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8　業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。

詳細は積算基準〔２ 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目　＼　業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	ー
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計,予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	ー	ー	ー

9　パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、２．掲載内容を参照してください。

＊＊本工事費＊＊　工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
＊＊ 本工事費 ＊＊					
消融雪設備		式			
製作原価		式			
さく井		式			
機器単体費		式			
ﾎﾟﾝﾌﾟ据付(製作原価)		施設		1	
据付工事原価		式			
さく井		式			
さく井工		式			
さく井(さく井工)		本		1	
さく井（材料費）		本		1	
側溝清掃車運搬		m3		12	
濁水処分費(m3)		m3		12	
ポンプ		式			
取水設備		式			
ﾎﾟﾝﾌﾟ据付(据付工)		施設		1	
ﾎﾟﾝﾌﾟ据付(据付工事原価)		施設		1	
電気設備					

＊＊本工事費＊＊　工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
電気設備復旧工		一式			
波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設		m		5	
低圧電力ｹｰﾌﾞﾙ端末処理		箇所		2	
埋設標識ｼｰﾄ敷設		m		9	
土工		式			
土工		一式			
土工費（別冊計上）		式		1	
直接製作費					
純製作費					
製作原価					
直接工事費					
技術管理費		式			
揚水試験報告書		式		1	
共通仮設費（率分）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費（率分）					
現場管理費計					

＊＊本工事費＊＊　工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など		規格１・規格２	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
据付間接費						
間接工事費						
据付工事原価						
設計技術費						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

参　考　資　料

この「参考資料」は、入札参加者の適性かつ迅速な見積に資するための資料であり、建設工事請負基準約款第１条にいう設計図書ではない。

従って「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

総 括 情 報 表

設計書名	実施設計書
事業名	
適用単価区分	1 実施単価
適用単価地区	25 津川①
単価適用日	0-07.08.20(0)
諸経費体系	9 機械設備

	当 世 代	前 世 代
工種区分1(共通仮設、現場	07 道路付帯設備	
工種区分2(間接労務、工場	07 消融雪設備	
工種区分3(据付間接、設計	11 消融雪設備	
施工地域区分	08 補正なし	
前払率	40 ４０％	
設計技術費(計上の有無)	01 自動計算する	
契約保証に係る保証	01 金銭的保証	
労務単価の補正率	21 0%:補正なし	
週休２日補正の有無	14 通期(現場閉所)R6.10	
小型車補正	00 小型車補正なし	
消費税率	04 10%	

＊＊ 本工事費 ＊＊　内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
＊＊ 本工事費 ＊＊					X1000
消融雪設備		式			YK060000000
製作原価		式			YK060100000
さく井		式			YK060101000
機器単体費		式			YK060101010
ﾎﾟﾝﾌﾟ据付(製作原価) φ100×22.0kW×6段 ﾎﾟﾝﾌﾟ台数＝1台 積算基準〔機械　　0 省略	1	施設			V2930 施工　第0-0001号内訳表
据付工事原価		式			YK060200000
さく井		式			YK060201000
さく井工		式			YK060201010
さく井(さく井工) ｹｰｼﾝｸﾞ呼び径 300A 掘削深度＝20.5m 積算基準〔機械　　0 省略	1	本			S2940 施工　第0-0002号内訳表
さく井（材料費） 0 省略	1	本			V29401 施工　第0-0003号内訳表
側溝清掃車運搬 北陸ｼﾞｵﾃｯｸ汚泥ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ　L=55.4km 0 省略	12	m3			SWB232010 施工　第0-0004号内訳表

＊＊ 本工事費 ＊＊　内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
濁水処分費(m3) 北陸ｼﾞｵﾃｯｸ汚泥ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ 0 省略	12	m3			SWB020051 施工　第0-0005号内訳表
ポンプ		式			YK060202000
取水設備		式			YK060202010
ﾎﾟﾝﾌﾟ据付(据付工) ﾎﾟﾝﾌﾟ台数＝1台 揚水管長さ＝16.5m 積算基準〔機械　0 省略	1	施設			S2934 施工　第0-0006号内訳表
ﾎﾟﾝﾌﾟ据付(据付工事原価) 積算基準〔機械　0 省略	1	施設			V2931 施工　第0-0007号内訳表
電気設備					Y3901
電気設備復旧工 0 省略		一式			Y4901
波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設 0 省略	5	m			VWE110500 施工　第0-0008号内訳表
低圧電力ｹｰﾌﾞﾙ端末処理 0 省略	2	箇所			SWE123101 施工　第0-0009号内訳表
埋設標識ｼｰﾄ敷設 0 省略	9	m			SWE122200 施工　第0-0010号内訳表
土工 0 省略		式			Y3901
土工 0 省略		一式			Y4901

＊＊ 本工事費 ＊＊　内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分		数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
	土工費（別冊計上） 35諸経費等の対象としない	1	式			W1000 572
直接製作費						
純製作費						
製作原価						
直接工事費						
技術管理費			式			Z0008
						Z0008
	揚水試験報告書 2部 0 省略	1	式			T6057
共通仮設費（率分）						Z0042
						Z0042
共通仮設費計						
純工事費						

＊＊ 本工事費 ＊＊　内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
現場管理費（率分）					Z0043
					Z0043
現場管理費計					
据付間接費					Z0044
					Z0044
間接工事費					
据付工事原価					
設計技術費					Z0045
					Z0045
工事原価計					
一般管理費等					
契約保証費					

＊＊ 本工事費 ＊＊　内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分		数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

ﾎﾟﾝﾌﾟ据付(製作原価)
φ100×22.0kW×6段
ﾎﾟﾝﾌﾟ台数＝1台
積算基準〔機械・電気通信設備〕による

V2930

施工内訳表

07年08月20日適用

施工　第0-0001号内訳表

1　施設　当り

名称・規格など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考　・　管　理　費　区　分
水中ﾎﾟﾝﾌﾟ(消雪ﾊﾟｲﾌﾟ井戸用) 100mm-22.0kW-6段	1	基			T5836 5　機器単体費
諸雑費(まるめ)	1	式			#80 0　省略
小計	1	施設			

さく井(さく井工)
ｹｰｼﾝｸﾞ呼び径 300A
掘削深度＝20.5m
積算基準〔機械・電気通信設備〕による

S2940

施工内訳表

07年08月20日適用

施工　第0-0002号内訳表

1　本　当り

名称・規格など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考　・　管　理　費　区　分
特殊作業員		人			RR0101　2 0　省略
普通作業員		人			RR0102　2 0　省略
特殊作業員		人			RR0101 さく井機設置撤0　省略
普通作業員		人			RR0102 さく井機設置撤0　省略
電工		人			RR0201 さく井機設置撤0　省略
とび工		人			RR0106 さく井機設置撤0　省略
ﾊﾟｰｶｯｼｮﾝ式さく井機損料[ﾓｰﾀ駆動] 中形(22kW)		日			S2941　1 0　省略
掘削用ﾋﾞｯﾄ損料 ﾋﾞｯﾄ径 450mm		日			S2941　1 0　省略
発動発電機[ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動] 排出ｶﾞｽ対策型(第1次) 37/45kVA		日			SK1510029　1 0　省略
ﾍﾞﾝﾄﾅｲﾄﾐｷｻ損料 0.2m3×1槽 2.2kW		日			S2941　1 0.2m3×1槽 2.20　省略
ｻﾝﾄﾞﾎﾟﾝﾌﾟ損料 口径80mm 揚程10m 3.7kW		日			S2941　1 口径80mm 揚程10　省略
電気溶接機運転 ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ付き 300A		日			S2941　1 交流ｱｰｸ溶接機0　省略

さく井(さく井工)
ｹｰｼﾝｸﾞ呼び径 300A
掘削深度＝20.5m
積算基準〔機械・電気通信設備〕による

S2940

施工内訳表

07年08月20日適用

施工　第0-0002号内訳表

1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・管理費区分
深井戸用水中ﾓｰﾀﾎﾟﾝﾌﾟ損料 口径100mm 揚程40m		日			S2941　1 0　省略
ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付き]運転 4t積 2.9t吊		日			S2941　1 4t積 2.9t吊　0　省略
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型] 25t吊		日			TLC1130006　1 さく井機設置撤0　省略
雑器具損料		%			#01 0　省略
ﾋﾞｯﾄ等損耗品費		%			#02 0　省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0　省略
小計	1	本			

掘削深度(粘性土：m)	=0	掘削深度(粘性土：m)	
掘削深度(砂･砂質土：m)	=4	掘削深度(砂･砂質土：m)	
掘削深度(ﾚｷ質土･軟岩：m)	=0	掘削深度(ﾚｷ質土･軟岩：m)	
掘削深度(岩塊･玉石：m)	=16.5	掘削深度(岩塊･玉石：m)	
ｹｰｼﾝｸﾞ規格	=3	ｹｰｼﾝｸﾞ呼び径 300A	
電気溶接機の規格	=5	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ付き 300A	
揚水試験用水中ﾎﾟﾝﾌﾟの規格	=5	口径100mm 揚程40m	

施工内訳表

V29401

07年08月20日適用

施工　第0-0003号内訳表

1　本　当り

名称・規格など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考　・　管　理　費　区　分
ｹｰｼﾝｸﾞ φ300（VPｽﾘｰﾌﾞ付）	20.5	m			T6049 0　省略
KVSｽﾄﾚｰﾅ φ300（VPｽﾘｰﾌﾞ付）	11	m			TMN0110002 0　省略
豆砂利（6～10mm）	2.05	m3			T2010 0　省略
諸雑費(まるめ)	1	式			#80
小計	1	本			

側溝清掃車運搬
北陸ｼﾞｵﾃｯｸ汚泥ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ　L=55.4km

SWB232010 施工内訳表

07年08月20日適用

施工　第0-0004号内訳表

100　m3　当り

名称・規格など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考　・　管　理　費　区　分
普通作業員		人			RR0102　1 0　省略
側溝清掃車運転		日			SWK230370　1 0　省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0　省略
計	100	m3			
小計	1	m3			
運搬距離　=7		63.0km以下			

濁水処分費(m3)
北陸ｼﾞｵﾃｯｸ汚泥ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ

SWB020051 施工内訳表

07年08月20日適用

施工　第0-0005号内訳表

100　m3　当り

名称・規格など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考　・　管　理　費　区　分
処分費	100.000	m3			TFJA0604342 T　処分費等
計	100	m3			
小計	1	m3			

ﾎﾟﾝﾌﾟ据付(据付工)
ﾎﾟﾝﾌﾟ台数＝1台
揚水管長さ＝16.5m
積算基準〔機械・電気通信設備〕による

S2934

施工内訳表

07年08月20日適用

施工　第0-0006号内訳表

1　施設　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・管理費区分
機械設備据付工		人			RR0303　2 ﾎﾟﾝﾌﾟ据付　0　省略
電工		人			RR0201　2 ﾎﾟﾝﾌﾟ据付　0　省略
普通作業員		人			RR0102　2 ﾎﾟﾝﾌﾟ据付　0　省略
機械設備据付工		人			RR0303　2 操作盤設置・ﾎﾟ　0　省略
電工		人			RR0201　2 操作盤設置・ﾎﾟ　0　省略
普通作業員		人			RR0102　2 操作盤設置・ﾎﾟ　0　省略
据付補助材料費		%			#02 0　省略
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型] 4.9t吊		日			TLC1120001　1 0　省略
雑器具損料		%			#01 0　省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0　省略
小計	1	施設			
ポンプ台数(台)　=1 揚水管長さ(m)　=16.5		ポンプ台数(台) 揚水管長さ(m)			

ﾎﾟﾝﾌﾟ据付(据付工事原価)

07年08月20日適用

施工内訳表

V2931

施工　第0-0007号内訳表

積算基準〔機械・電気通信設備〕による　　1　　施設　　当り

名称・規格など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考　・　管　理　費　区　分
揚水管80mm（支給品）※費用計上していない	16.5	m			W5896 0　省略
水中ｹｰﾌﾞﾙ(□14.0mm2) EVCT	43	m			T5904 0　省略
水位ｹｰﾌﾞﾙ VCTF	38	m			T5910 0　省略
電極棒	2	本			T5911 0　省略
硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 一般管VP　径20　　長4.0m	5	本			TN2224 0　省略
水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管TS接手 ｿｹｯﾄ径20	4	個			W1001 建設物価・積算0　省略
諸雑費(まるめ)	1	式			#80 0　省略
小計	1	施設			

波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設

VWE110500 施工内訳表

07年08月20日適用

施工　第0-0008号内訳表

100　m　当り

名称・規格など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考　・　管　理　費　区　分
電工		人			RR0201　2 0　省略
FEP φ65 (波付硬質合成樹脂管) 直管	100	m			T9679 0　省略
諸雑費(まるめ)	1	式			#80 0　省略
計	100	m			
小計	1	m			

低圧電力ｹｰﾌﾞﾙ端末処理

07年08月20日適用

SWE123101 施工内訳表

施工　第0-0009号内訳表

1　　箇所　　当り

名称・規格など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考　・　管　理　費　区　分
電工		人			RR0201　1 0　省略
諸雑費	1.00	式			#80 0　省略
小計	1	箇所			
作業種別 =1　14mm2×3C以下 心線数による補正 =1　3心					

埋設標識ｼｰﾄ敷設

07年08月20日適用

SWE122200 施 工 内 訳 表

施工　第0-0010号内訳表

100　m　当り

名称・規格など	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考　・　管　理　費　区　分
電工		人			RR0201　1 0　省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0　省略
計	100	m			
小計	1	m			
作業種別　=1　埋設標識ｼｰﾄ敷設					

単価入力データ一覧表①

上　位 コード	上 位 名 称	第番号	単　価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単　位	金　　額
Y4901	土工		W1000	土工費（別冊計上）	式	
V2931	ﾎﾟﾝﾌﾟ 据付(据付工事原価)	第0-0007号	W5896	揚水管80mm（支給品）※費用計上していない	m	
V2931	ﾎﾟﾝﾌﾟ 据付(据付工事原価)	第0-0007号	W1001	水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管TS接手 ｿｹｯﾄ径20 建設物価・積算資料	個	

単価入力データ一覧表②

上　位 コード	上 位 名 称	第番号	単　価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単　位	金　　額
SWB020051	濁水処分費(m3)	第0-0005号	TFJA0604342	処分費	m3	

別冊

令和07年度

町道鹿瀬線消雪井さく井工事（土工費）

※　次頁以降は、本編の本工事費内訳書に、「土工費（別冊計上）」として工事価格相当額を計上している。

別冊

＊＊本工事費＊＊　工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
＊＊ 本工事費 ＊＊					
道路維持		式			
冬期対策施設工		式			
消雪井ポンプ室土工		式			
作業土工		一式			
床掘り		m3		10	
埋戻し		m3		10	
ポンプ室設置工		一式			
基礎砕石		m2		2	
消雪用ﾎﾟﾝﾌﾟ室(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)設置工		個		1	
蓋設置		組		1	
消雪用ポンプ室（プレキャスト）		個		1	
送水管据付工		一式			
暗渠排水管		m		6	
配管材料費		式		1	
構造物撤去工		式			
構造物取壊し工		式			
既設井戸処理工		一式			

＊＊本工事費＊＊　工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格１・規格２	単　位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
豆砂利（6～10mm）		m3		3	
直接工事費					
共通仮設費（率分）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費（率分）					
現場管理費計					
工事原価					
工事原価計					
一般管理費等					
一般管理費等計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費					

総 括 情 報 表

設計書名	実施設計書	
事業名		
適用単価区分	1 実施単価	
適用単価地区	25 津川①	
単価適用日	0-07.08.20(0)	
諸経費体系	1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分	02 河川・道路構造物	
施工地域区分	11 補正なし	
現場環境改善費	00 なし	
前払率	00 ０％	
契約保証に係る保証	03 保証なし	
消費税率	04 10%	
労務単価の補正率	21 0%:補正なし	
週休２日補正の有無	14 通期(現場閉所)R6.10	
ICT3D出来形･納品補正	00 なし(R02.10.20～)	
小型車補正	00 小型車補正なし	

＊＊ 本工事費 ＊＊　内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
＊＊ 本工事費 ＊＊					X1000
道路維持		式			Y1000000031
冬期対策施設工		式			Y2000000289
消雪井ポンプ室土工 0 省略		式			Y3901
作業土工 0 省略		一式			Y4901
床掘り 0 省略	10	m3			SCB210030 施工　第0-0001号内訳表
埋戻し 0 省略	10	m3			SCB210410 施工　第0-0002号内訳表
ポンプ室設置工 0 省略		一式			Y4901
基礎砕石 0 省略	2	m2			SCB221110 施工　第0-0003号内訳表
消雪用ﾎﾟﾝﾌﾟ室(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)設置工 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ設置歩掛を準用 資材費は別途計上のため計上していない 0 省略	1	個			SCB440450 施工　第0-0004号内訳表
蓋設置 0 省略	1	組			SCB440460 施工　第0-0005号内訳表
消雪用ポンプ室（プレキャスト） B1200×L1500×H1200 重荷重用 0 省略	1	個			W1000 572

＊＊ 本工事費 ＊＊　内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
送水管据付工 0 省略		一式			Y4901
暗渠排水管 管材料費は別途計上のため計上していない 0 省略	6	m			SCB222770 施工　第0-0006号内訳表
配管材料費 0 省略	1	式			V1000 施工　第0-0007号内訳表
構造物撤去工		式			Y2000000291
構造物取壊し工		式			Y3000001825
既設井戸処理工 0 省略		一式			Y4901
豆砂利（6～10mm） 0 省略	3	m3			T2010
直接工事費					
共通仮設費（率分）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費（率分）					

＊＊ 本工事費 ＊＊　内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分		数　量	単　位	単　価	金　額	備　考
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

配管材料費

07年08月20日適用

施工内訳表

V1000

施工　第0-0007号内訳表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・管理費区分
ｽﾄﾗﾌﾞｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞｸﾞﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ(G型) 一般配管用(標準品)125A	1	個			T0109 0　省略
耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP125	6	m			W0001 建設物価・積算0　省略
水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手(HIｿｹｯﾄ) 径125	1	個			W0002 建設物価・積算0　省略
水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手(HIｴﾙﾎﾞ) 径125	1	個			W0003 建設物価・積算0　省略
小計	1	式			

単価適用日/適用基準日　07年08月20日適用

施 工 内 訳 表

SCB210030

施工　第0-0001号内訳表

1　m3　当り

機械構成比：　19.87%　労務構成比：　72.99%　材料構成比：　7.14%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：　2，170.7

代表機労材規格	構成比	単価(津川①　)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t'ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[後方超小旋回型] 排ｶﾞｽ型(第2次) 山積0.28m3	19.87%	円／供用日	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[後方超小旋回型] 排ｶﾞｽ型(第2次) 山積0.28m3		MMJ0202096 MM090202096
R1t'運転手(特殊)	39.96%	円／人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
R2t'普通作業員	33.03%	円／人	普通作業員		RR0102 RR9102
Z1t'軽油	7.14%	円／L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
積算単価			積算単価		EP001
土質 =1 土砂 施工方法 =5 上記以外(小規模) 費用の内訳 =1 全ての費用					
【補正式】 P' ＝ P					
[機械補正] $\times \{[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t}] \times \frac{Kr}{K1r}$					
[労務補正] $+[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t}] \times \frac{Rr}{R1r + R2r}$					
[材料補正] $+[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t}] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}\}$					

埋戻し

単価適用日/適用基準日　07年08月20日適用

施 工 内 訳 表

SCB210410

施工　第0-0002号内訳表

1　m3　当り

機械構成比：　9.48%　労務構成比：　86.47%　材料構成比：　4.05%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：　3，871.1

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(津川①　)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t' ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[後方超小旋回型] 排ｶﾞｽ型(第2次) 山積0.28m3	8.90%	円／供用日	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[後方超小旋回型] 排ｶﾞｽ型(第2次) 山積0.28m3		MMJ0202096 MM090202096
K2t' ﾗﾝﾏ 質量60~80kg	0.58%	円／供用日	ﾗﾝﾏ 質量60~80kg		MMJ0806001 MM090806001
R1t' 普通作業員	49.42%	円／人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t' 特殊作業員	19.17%	円／人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R3t' 運転手(特殊)	17.88%	円／人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
Z1t' 軽油	3.20%	円／L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
Z2t' ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ	0.85%	円／L	ガソリン レギュラー		TZJ6704001 TZ096704001
積算単価			積算単価		EP001
施工方法	=5	上記以外(小規模)			
土質	=1	土砂			
費用の内訳	=1	全ての費用			
【補正式】 P' ＝ P					
[機械補正] $\times \{[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t}] \times \frac{Kr}{K1r + K2r}$					
[労務補正] $+[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t}] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r}$					

埋戻し

単価適用日/適用基準日　07年08月20日適用

施 工 内 訳 表

SCB210410

施工　第0-0002号内訳表

1　m3　当り

機械構成比：　9.48%　労務構成比：　86.47%　材料構成比：　4.05%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：　3，871.1

代表機労材規格	構成比	単価(津川①　)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
[材料補正] $+[\frac{Z1r}{100}\times\frac{Z1t'}{Z1t}+\frac{Z2r}{100}\times\frac{Z2t'}{Z2t}]\times\frac{Zr}{Z1r+Z2r}$					
[全体調整] $+\{\frac{100-Kr-Rr-Zr}{100}$					

07-実施--一般-2202-当初

基礎砕石

単価適用日/適用基準日　07年08月20日適用

施 工 内 訳 表

SCB221110

施工　第0-0003号内訳表

1　m2　当り

機械構成比：　5.27%　労務構成比：　73.08%　材料構成比：　21.65%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：　1，278.1

代表機労材規格		構成比	単価(津川①　)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t'	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)	5.24%	円／日	バックホウ（クローラ）［標準］ 山積０．８ｍ３（平積０．６ｍ３）		TLC1010007 TL091010007
R1t'	普通作業員	35.03%	円／人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t'	特殊作業員	14.83%	円／人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R3t'	運転手(特殊)	13.97%	円／人	運転手（特殊）		RR0114 RR9114
R4t'	土木一般世話役	8.75%	円／人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t'	ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ 40mm	16.89%	円／m3	再生クラッシャーラン ＲＣ－４０		TZJ2120003 TZ092122003
Z2t'	軽油	4.73%	円／L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	砕石の厚さ　=3 砕石の種類　=1 費用の内訳　=1		12.5cmを超え17.5cm以下 ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ C-40 全ての費用			
	【補正式】 P'　＝　P					
	［機械補正］ $\times \{[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t}] \times \frac{Kr}{K1r}$					
	［労務補正］ $+[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t}] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r}$					

基礎砕石

単価適用日/適用基準日　07年08月20日適用

施 工 内 訳 表

SCB221110

施工　第0-0003号内訳表

1　m2　当り

機械構成比：　5.27%　労務構成比：　73.08%　材料構成比：　21.65%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：　1，278.1

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(津川①　)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
［材料補正］ $+[\frac{Z1r}{100}\times\frac{Z1t'}{Z1t}+\frac{Z2r}{100}\times\frac{Z2t'}{Z2t}]\times\frac{Zr}{Z1r+Z2r}$					
［全体調整］ $+\frac{100-Kr-Rr-Zr}{100}\}$					

07-実施--一般-2202-当初

消雪用ﾎﾟﾝﾌﾟ室(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)設置工
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ設置歩掛を準用
資材費は別途計上のため計上していない

単価適用日/適用基準日　07年08月20日適用

SCB440450

施 工 内 訳 表

施工　第0-0004号内訳表
1　個　当り

機械構成比：　2.45%　労務構成比：　7.96%　材料構成比：　89.59%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：　139，560

代表機労材規格	構成比	単価(津川①　)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t' ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型] 25t吊	2.45%	円／日	ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］ ２５ｔ吊		TLC1130006 TL091130006
R1t' 普通作業員	4.96%	円／人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t' 土木一般世話役	1.86%	円／人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
R3t' 特殊作業員	1.14%	円／人	特殊作業員		RR0101 RR9101
Z1t' ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ 修正	89.59%	円／個	分岐桝 ５５０×８００×１２００		TY001263000 TZP92630001
積算単価			積算単価		EP001
ﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ1個当り質量 =2　1000kgを超え4000kg以下 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料補正係数 =1　標準					
【補正式】 P' ＝ P					
[機械補正] $\times \{[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t}] \times \frac{Kr}{K1r}$					
[労務補正] $+[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t}] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r}$					
[材料補正] $+[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t}] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}\}$					

07-実施--一般-2202-当初

蓋設置

単価適用日/適用基準日　07年08月20日適用

施 工 内 訳 表

SCB440460

施工　第0-0005号内訳表

1　組　当り

機械構成比：　6.58%　労務構成比：　90.31%　材料構成比：　3.11%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：　5，160.6

代表機労材規格		構成比	単価(津川①　)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t'	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ)[超小旋回型･ｸﾚｰﾝ機能付き] 山積0.28m3(平積0.2m3) 1.7t吊	6.58%	円／日	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ) [超小旋回型・ｸﾚｰﾝ機能付き] 山積０．２８ｍ３（平積０．２ｍ３）1.7t吊		TLC1010010 TL091010010
R1t'	普通作業員	41.70%	円／人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t'	運転手(特殊)	21.47%	円／人	運転手（特殊）		RR0114 RR9114
R3t'	土木一般世話役	16.80%	円／人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
R4t'	特殊作業員	10.34%	円／人	特殊作業員		RR0101 RR9101
Z1t'	軽油	3.11%	円／L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	蓋1組当り質量	=2	200kgを超え800kg以下			
	【補正式】 P'　＝　P					
	[機械補正] $\times \{[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t}] \times \frac{Kr}{K1r}$					
	[労務補正] $+[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t}] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r}$					
	[材料補正] $+[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t}] \times \frac{Zr}{Z1r}$					

蓋設置　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単価適用日/適用基準日　　07年08月20日適用

SCB440460　施 工 内 訳 表

施工　第0-0005号内訳表
1　組　当り

機械構成比：　6.58%　労務構成比：　90.31%　材料構成比：　3.11%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：　5, 160.6

	代　表　機　労　材　規　格	構成比	単価(津川①　　　)	代　表　機　労　材　規　格(東京地区)	単価(東京地区)	備　考
	[全体調整]　+ {(100 - Kr - Rr - Zr) / 100}					

暗渠排水管
管材料費は別途計上のため計上していない

単価適用日/適用基準日　07年08月20日適用

施 工 内 訳 表

SCB222770

施工　第0-0006号内訳表

1　m　当り

機械構成比：　0.00%　労務構成比：　43.69%　材料構成比：　56.31%　市場単価構成比：　0.00%　標準単価：　690.65

代表機労材規格	構成比	単価(津川①　)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
R1t' 普通作業員	31.14%	円／人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t' 土木一般世話役	12.55%	円／人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t' 暗渠排水管 修正	56.31%	円／m	暗渠排水管 直管　呼び径７５ｍｍ　ポリエチレン吸水管		TY001664000 TZP96640000
積算単価			積算単価		EP001
作業区分	=1	据付			
管種別	=1	直管			
呼び径	=1	50~150mm			
費用の内訳	=2	機械費,労務費のみ(1日未満用)			
【補正式】 P' ＝ P					
[労務補正] $\times \{[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t}] \times \frac{Rr}{R1r + R2r}$					
[材料補正] $+[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t}] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
[全体調整] $+ \frac{100 - Rr - Zr}{100}\}$					

07-実施--一般-2202-当初

単価入力データ一覧表①

上　位 コード	上 位 名 称	第番号	単　価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単　位	金　　額
Y4901	ポンプ室設置工		W1000	消雪用ポンプ室（プレキャスト） B1200×L1500×H1200 重荷重用	個	
V1000	配管材料費	第0-0007号	W0001	耐衝撃性硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 HIVP125 建設物価・積算資料	m	
V1000	配管材料費	第0-0007号	W0002	水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手(HIｿｹｯﾄ) 径125 建設物価・積算資料	個	
V1000	配管材料費	第0-0007号	W0003	水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手(HIｴﾙﾎﾞ) 径125 建設物価・積算資料	個	

単価入力データ一覧表②

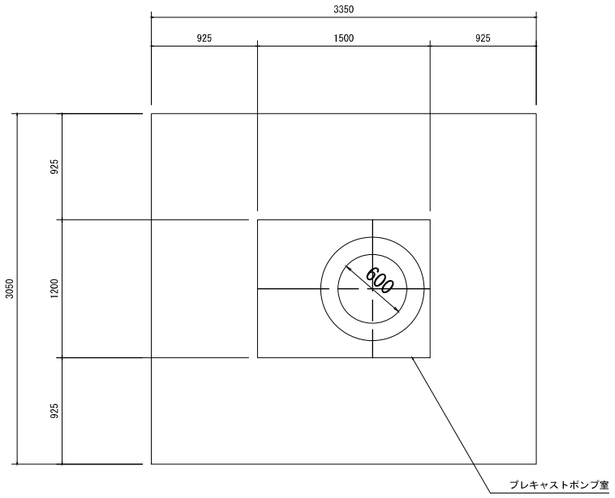
上　位 コード	上 位 名 称	第番号	単　価 コード	単 価 名 称 規 格 1,規 格 2,摘 要 名 称	単　位	金　　額
SCB440450	消雪用ﾎﾟﾝﾌﾟ室(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)設置工	第0-0004号	TY001263000	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽﾌﾞﾛｯｸ	個	
SCB222770	暗渠排水管	第0-0006号	TY001664000	暗渠排水管	m	

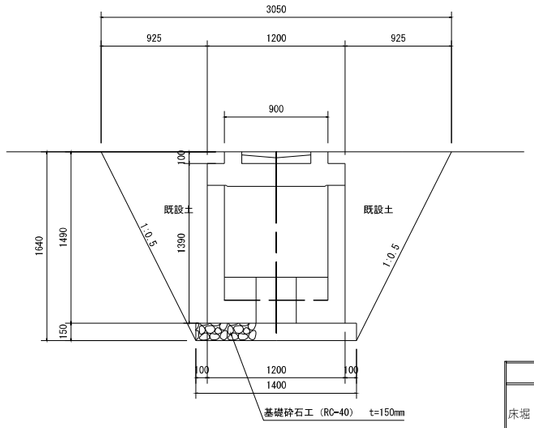
R7 阿建社交第 2-001 号　町道鹿瀬線消雪井さく井工事　位置図

ポンプ室土工及び送水管・電線管据付図

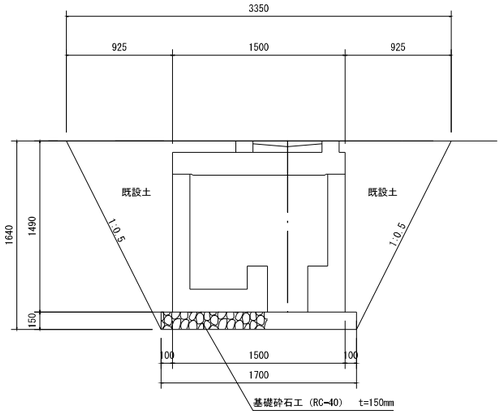
ポンプ室土工図

S=1/25



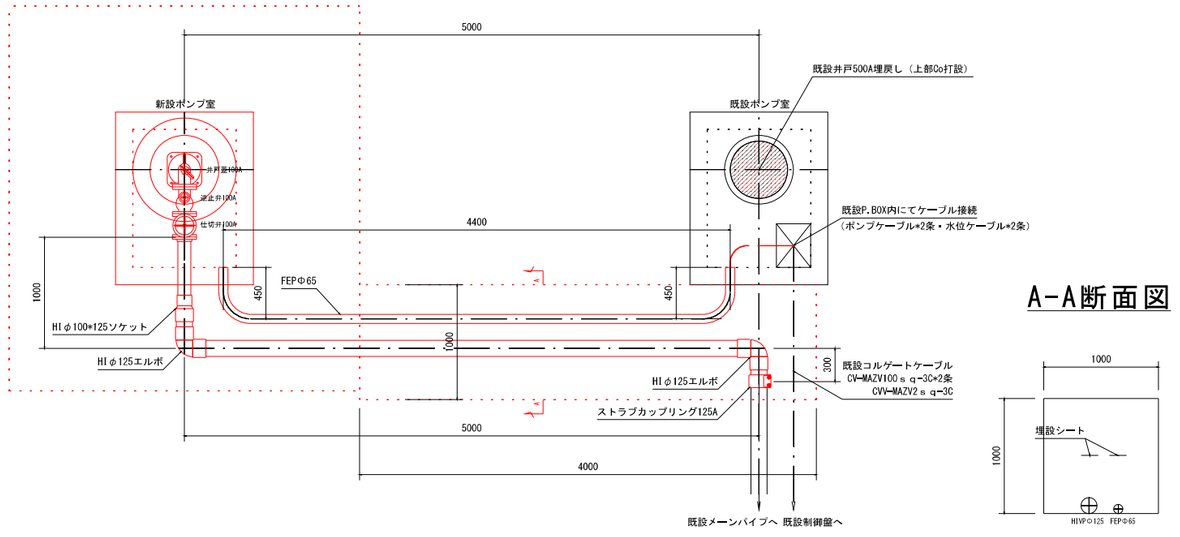


工種	計算式			まるめ	
床堀	ポンプ室 1.64*（3.35*1.4+3.05*1.7+2（3.35*3.05+1.7*1.4））/6※オベリスクの公式より	=	9.6		
	送水・電気 1*1*4	=	4.0	14	m3
	合計	=	13.6		
基礎砕石	1.4*1.7	=	2.4	2	m2
消雪ﾎﾟﾝﾌﾟ室(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)設置	1	=	1.0	1	個
埋戻し	13.6-2.6-0.4	=	10.6		
	※ポンプ室控除 1.5*1.2*1.39+0.45*0.45*3.14*0.1＝2.6			11	m3
	※基礎材控除 1.7*1.4*0.15＝0.4				
波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設	0.45+4.4+0.45	=	5.3	5	m
低圧電力ｹｰﾌﾞﾙ端末処理	2	=	2.0	2	箇所
埋設標識ｼｰﾄ敷設	5+4.4	=	9.4	9	m
暗渠排水管敷設	1+5+0.3	=	6.3	6	m
埋戻し用充填砂利	（14.25-1.1）*0.25*0.25*3.14	=	2.6	3	m3



送水管・電線管据付図

S=1/25



A-A断面図

消雪パイプ施設台帳

図面番号	

井戸管理番号	No. 2 (深戸-鹿瀬)	施設番号	
路線名	町道鹿瀬 線	設置場所	東蒲原郡阿賀町鹿瀬 地内

井戸										
	施工年度	平成23年度	工事番号	H23阿建まち交第2-002号	施工業者名	新津さく泉株式会社				
	掘削	口径 650 m/m	深度 20.5 m							
	充填砂利	径 10 m/m	遮水位置 m							
	ケーシング	口径 500 m/m	材質 SGP	ストレーナ	材質 SS	型式 巻線	孔明率 20 %			
	水質	水温 14 ℃	砂の含有量 0 mg/l	鉄分 0.1 mg/l	PH 6.2	塩素イオン濃度 11 mg/l				
	用地	(道路敷)・買収・借地	協定者	契約 年 月 日						

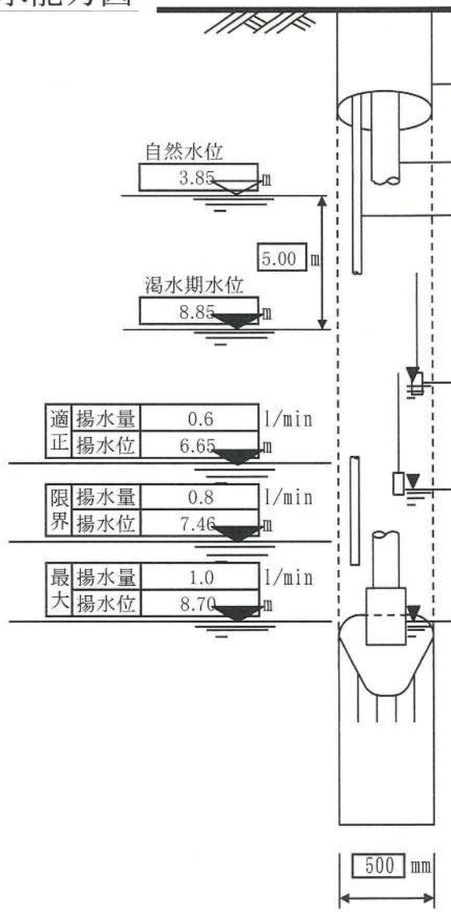
取水設備									
	施工年度	平成24年度	工事番号	阿建まち交第2-003号	施工業者名	新津さく泉株式会社			
	ポンプ	メーカー (株)日立産機システム	水中・地上	100 φ× 6 段× 22 kW	ポンプ室	地上・(地下)・その他			
	揚水管	規格 口径 100 m/m	深度 16.5 m	材質 (メッキ)・錆止塗装・ステンレス・その他					
	電気設備	配電盤 手動・(自動)・遠隔・降雪検知器	メーカー 新潟電機㈱						

散水施設					
単位水量 l/㎡・min	日交通量 台/h	(夜間)			
施工年度	平成24年度				
工事番号	阿建まち交第2-001号				
施工業者名	[redacted]				
送水工	管径	Φ100 ～	～	～	
	延長	1818.8m			
メーンパイプ	管径	～	～	～	
	延長	654.8m			
ノズル	規格 穴×φ m/m	規格 穴×φ m/m	規格 穴×φ m/m		
	メーカー	メーカー	メーカー		

記事

井戸取水能力図

削井年月日 年 月 日

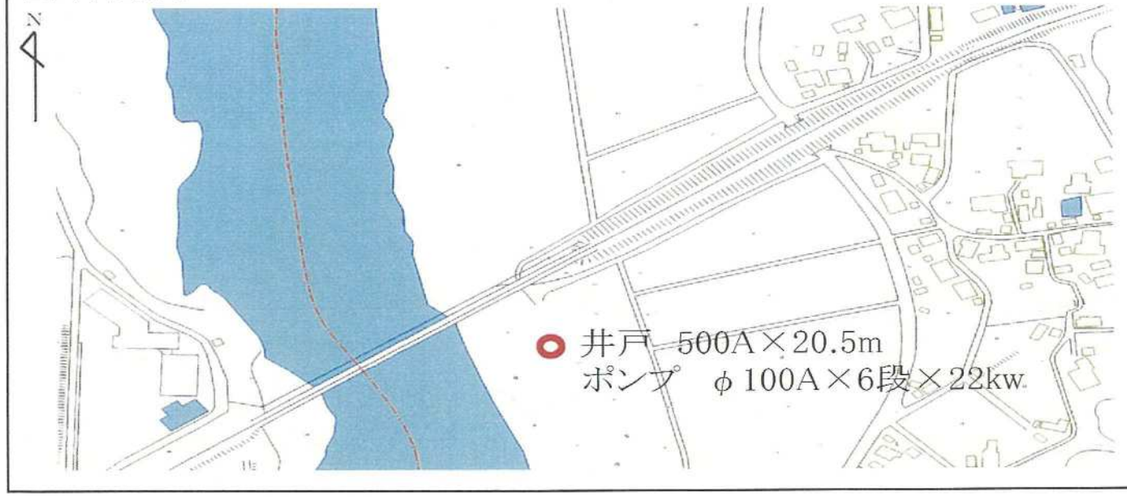


計画	
運転水位	
揚水量	
揚程	

ポンプ据付時データ

	バルブ締切時	バルブ開放時
電流(A)		
電圧(V)		
圧力		
絶縁抵抗		

位置図(市街図) ポンプ位置、配管延長及び位置、方位を明記する。



管　理　記　録　(取水施設)

年月日	自然水位	運転水位	電流値	電圧値	圧　力	絶縁抵抗値	摘　　要

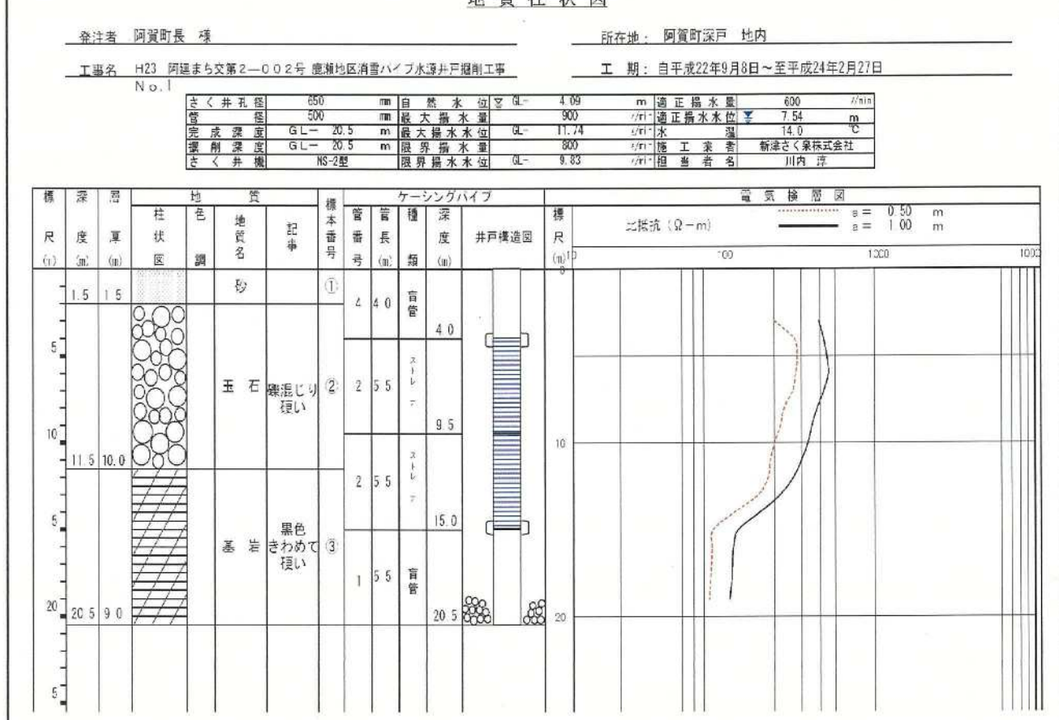
修　理　概　要　(散水施設)

年度	施　　工　　内　　容	施工業者

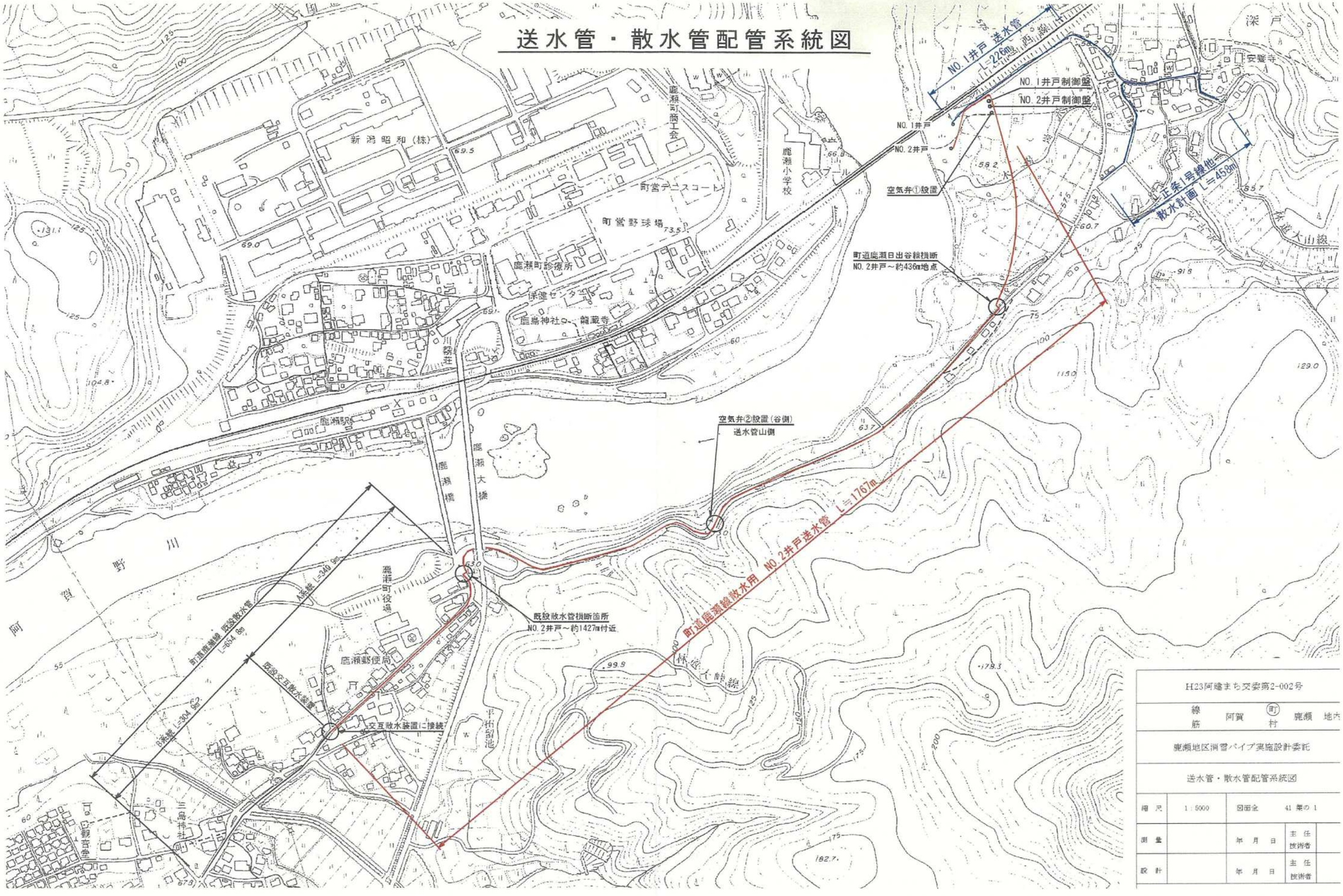
配管系統図（径及び年度ごとの延長・バルブ・ドレーン・ポンプ位置を記入）

別紙に記載

柱状図（削井・ケーシングプログラム・孔内電気検層を含む）



送水管・散水管配管系統図



H23阿賀まち交委第2-002号					
線筋	阿賀	(町)村	鹿瀬	地内	
鹿瀬地区消雪パイプ実施設計委託					
送水管・散水管配管系統図					
縮尺	1:5000	図面全	41 葉の 1		
測量		年月日	主任技術者		
設計		年月日	主任技術者		